様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT〜豊田東JCT)
事業主体	中日本高速道路㈱

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	・事業全体:費用便益比(B/C) = 2.0(経済的純現在価値(B-C) = 9.841億円、経済的内部収益率(EIRR)= 7.9%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

改策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
円滑なモビリ ティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率	・渋滞損失時間(整備前):13,379百万人・時間/年 ・渋滞損失削減時間: 28百万人・時間/年 (削減率 0.21%) (13,379百万人・時間/年→13,351百万人・時間/年)
	■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善状況	岡崎地区周辺において、旅行速度の改善が見られた
	並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線の況	の状 東名バス停経由便であるスーパーライナー(東京駅〜名古屋駅)の定時性向上 新東名を利用した直通便である新東名スーパーライナー(東京駅〜名古屋駅)のルート変更
	■ 新幹線駅へのアクセス向上の状況	対象駅:名古屋駅 対象自治体:新城市 改善状況:新城市役所~名古屋駅、86分⇒73分(13分短縮)
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	対象駅:中部国際空港 対象自治体: 新城市 改善状況: 新城市役所~中部国際空港、89分→76分(13分短縮)
物流効率化の支 援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上の状況	対象港湾:名古屋港 対象自治体:新城市 改善状況:新城市役所~名古屋港、81分→67分(14分短縮)
	■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上の状況	肉用牛產出額:新城市 83千万円⇒110千万円、豊田市 41千万円⇒61千万円、設楽町 15千万円⇒24千万円 米産出額:新城市 89千万円⇒105千万円、豊田市 229千万円⇒256千万円、岡崎市 124千万円⇒149千万円
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援に関する効果	
	□ 三大都市圏の環状道路を形成されたことによる効果	
	ロ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	東西方向の拠点都市間を連絡するルートを構成
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上の状況	対象都市:豊田市、御殿場市 改善状況:豊田市(豊田JCT)~御殿場市(御殿場JCT)、143分⇒127分(16分短縮)

	個性ある地域の 形成	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援に関する効果	
		■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地へのアクセス向上による効果	新城ICに近接する「道の駅もっくる新城」の来場者数が開通前後の2015年から2016年にかけて約42万人増加 新城市内の祭り(新城さくらまつり、鳳来寺山もみじまつり、長篠合戦のぼりまつり)の来場者数が開通以来増加傾向
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結されたことによる効果	
2. 暮らし	安全で安心でき るくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上の状況	岡崎東IC付近~トヨタ記念病院 47分→25分 (22分短縮) 岡崎東IC付近~聖隷三方原病院、55分→49分 (6分短縮)
	安全な生活環境 の確保	□ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上の状況	
3. 安全	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	「愛知県地域防災計画」において、第一次緊急輸送路に位置づけ。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	緊急輸送道路路線:東名高速道路 代替する区間:三ヶ日JCT〜豊田JCT
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	並行する高速ネットワーク:東名高速道路 代替する区間:三ヶ日JCT〜豊田JCT
		□ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	・排出量:8万t/年、排出削減率:0.04%削減
	生活環境の改 善・保全	● 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	·排出量:95t∕年、排出削減率:0.02%削減
		● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	排出量:28t/年、排出削減率:0.1%削減
		□ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間の騒音レベルの改善の状況	
		□ その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・そ の他の別
第二東海自動車道 横浜名古屋線	浜松いなさJCT 〜豊田東JCT	L=55km	高速自動車国道	_

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
42, 900~53, 600	4	中日本高速道路㈱

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		令和2年度	
単純合計	5,850億円	1, 754億円	7, 604億円
基準年における 現在価値 (C)	8,897億円	907億円	9, 804億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年	令和2年度				
供 用 年	平成27年度				
単年便益 (初年便益)	840億円	28億円	6億円	875億円	
基準年における 現在価値(B)	18,875億円	645億円	126億円	19, 645億円	

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	2. 0
経済的純現在価値(事業全体)	9, 841億円
経済的内部収益率 (事業全体)	7. 9%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

事業名:第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT~豊田東JCT)

(推計時点 R12年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①轮弧当晚	て、行扱い	交通量※1	[台/日]	-	46, 500
①新設道路(浜松い なさJCT〜豊田東 JCT):55km		走行時間※2	[分]	-	37
JUI)	: JOKIII	走行時間費用※3	[億円/年]	1	408
		交通量	[台/日]	79, 000	40, 500
	東名: 48.2km	走行時間	[分]	42	34
		走行時間費用	[億円/年]	759	308
	国道1	交通量	[台/日]	50, 900	49, 800
	号: 62.9km	走行時間	[分]	174	171
	OZ. 9KIII	走行時間費用	[億円/年]	1, 913	1, 825
②主 <i>t</i> tE国	国道248 号: 22.8km	交通量	[台/日]	51, 700	50, 300
辺道路※		走行時間	[分]	66	64
4		走行時間費用	[億円/年]	699	657
	国道362 号: 14.4km	交通量	[台/日]	24, 300	24, 200
		走行時間	[分]	34	34
		走行時間費用	[億円/年]	181	180
	国道151	交通量	[台/日]	20, 400	20, 200
	号: 39.6km	走行時間	[分]	91	91
	งช. 0KIII	走行時間費用	[億円/年]	407	401
	国道473	交通量	[台/日]	3, 900	3, 900
	号:	走行時間	[分]	102	102
	46.8km	走行時間費用	[億円/年]	80	80
③その他道 19,00		走行時間費用	[億円/年]	133, 504	132, 930

	走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益	
	整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)	
合計:19,291.6km 走行時間短縮便益	[億円/年]	137, 543	136, 790	753

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名:第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT~豊田東JCT)



費用便益分析の条件

事業名:第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT〜豊田東JCT)

(2)

	チェック欄			
		費用便益分析		_
	算出マニュアル	(平成30年2	月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	-
その他		その他		
		分析対象期間		50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	<u> </u>	4%
		基準年次		令和2年度
	交通流の	1時点のみ推	計	(2030)
	推計時点	複数時点での	D推計	
		整備の有無る		
	作計の井口	整備の有無の	Dいずれかのみ推計	口有 口無
	推計の状況 	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
		道路交通セン	ッサスをベースとした自動車OD表	
	₩₩₩	(三段階推定	法)	(H22センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリッ	ップ調査をベースとした自動車OD表	
	004	(四段階推定	法)	
		その他()	
交		無		
通	 開発交通量の	有		
流	開充文通里の 考慮		考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推	7 NE	有の場合のみ	考慮した理由を記載	
計				
		Q-V式を用	いた配分	
		転換率式を用	引いた配分	
		QーV式と転	換率式の併用による配分	
		均衡配分(リ	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法		
	配分交通量の	簡易手法の	小規模事業である	
	推計手法	間易于法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない	
			その他()	
		間易手法の考え	.方(将来交通量の設定方法等)	
		その他()	П
		して設定	ミ」 阿の丞及と又通重 こうエイド 打け	
		採用理由を記載		
	速度設定の 考え方	最終配分の過	東度	
	与 ん刀		記入 記分条件であるQV式に基づく配分交通量(日交	通量)の走行速度
			を採用	
		その他(高規	格道路の速度は、道路種別・車線当たり交通量	
			た一般道の速度は沿道条件・交差点密度等の	•

事業名: 第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT~豊田東JCT)

(3)

			項目	チェック欄						
		考慮しない								
		考慮する								
	仕口立さる		面的に考慮							
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮							
	が音	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %						
		-93 LI 0707	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えブ	うを記載						
				<u></u>						
		考慮しない	<u> </u>							
		考慮する	Transport							
	災害等による		採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日						
	通行止めの		抹用した週11年の11数の考え力を記載							
	影響	考慮する 場合のみ	しはよめ女孩と老妻と2							
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合							
		考慮しない								
		考慮する								
	冬期交通の 影響	***************************************	採用した冬期日数	() 目						
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数の考え方を記載							
便										
益			冬期の走行速度と交通容量の関係							
の質			設定の考え方を記載							
算定			ᄄᄜᆂᄺᇧᆂᇢᇬᄺᆥᇏᇩᄔᄀᆖᇝᇊ	_						
	交通流推計の 時点以外の		重種別走行台キロの伸び率による設定	-						
	便益の算定	その他 (
		費用便益分析								
	車種別時間	独自に設定し								
	価値原単位	算出根拠を添								
		費用便益分								
	車種別走行	独自に設定し								
	経費原単位	算出根拠を添付すること								
	÷ '3 ± 14 '- 1									
	交通事故減少 便益算定		の有無を考慮 の大概さればしない。							
	世金昇正 走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便	中央分離帯の	<u> </u>							
		考慮しない								
		<u> </u>								
	益									
	その他									

事業名: 第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT〜豊田東JCT) (4)

			項目	チェック欄							
		詳細事業計画									
	事業費	標準投資パタ									
		その他(
	维杜竺亚弗	維持管理費の設定根拠を記載									
	維持管理費	実績値をもとに設定									
費	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である									
用		考慮しない									
の		考慮する									
算			事業費を考慮								
定	当該道路整備が		維持管理費を考慮								
	行われない場合		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及	び考え方を記載(対策							
	の費用	考慮する 場合のみ	内容、費用等)								
		291 0707									
	その他										
	維持管理費には雪氷作業費を含んでいる										
4.	その他										
		••••••									

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出

箇所名:第二東海自動車道	道 横浜名古屋	屋線(浜松いた	田東JCT)	単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)			
			000	= ** #	- //æ. !! \	55			
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費 単純価値	現在価値	維持管理 単純価値	賀(億円) 現在価値		
-23年目	H 5	2.8834	113.8	— 小心 III IIE 1	2	— 1 ¹ -С Ш <u>С</u>	0		
-22年目	H 6	2.7725	113.7	4	10		0		
<u> </u>	H 7	2.6658	113.0	15	36		0		
-20年目 -19年目	H 8	2.5633 2.4647	112.5 113.4	33 36	76 79		0		
—————————————————————————————————————	H 10	2.3699	112.8	42	88		0		
-17年目	H 11	2.2788	111.2	61	125		0		
-16年目	H 12	2.1911	109.8	83	166		0		
<u> </u>	H 13	2.1068	108.5	90	175		0		
	H 14 H 15	2.0258 1.9479	106.7 105.2	104 76	198 140		0		
	H 16	1.8730	103.2	192	345		0		
-11年目	H 17	1.8009	103.0	130	227		0		
-10年目	H 18	1.7317	102.2	139	236		0		
<u>-9年目</u>	H 19	1.6651	101.4	151	249		0		
<u> </u>	H 20	1.6010	100.8	183	291		0		
	H 21 H 22	1.5395 1.4802	99.4 97.8	217 389	337 589		0		
	H 23	1.4233	96.3	565	835		0		
-4年目	H 24	1.3686	95.6	699	1,001		0		
一3年目	H 25	1.3159	95.6	725	999		0		
-2年目	H 26	1.2653	98.0	779	1,006		0		
一1年目	H 27	1.2167	99.4	1,054	1,290	0.1	0		
供用開始年次 1年目	H 28 H 29	1.1699 1.1249	99.3 99.3	248 111	293 126	31 33	37 37		
	H 30	1.0816	99.2	25	27	35	38		
3年目	R 1	1.0400	100.0	9	9	38	40		
4年目	R 2	1.0000	100.0		0	32	32		
5年目	R 3	0.9615	100.0		0	33	31		
6年目	R 4	0.9246	100.0		0	33	30		
7年目 8年目	R 5	0.8890 0.8548	100.0 100.0		0	33 34	29 29		
9年目	R 7	0.8219	100.0		0	33	27		
10年目	R 8	0.7903	100.0		0	33	26		
11年目	R 9	0.7599	100.0		0	34	26		
12年目	R 10	0.7307	100.0		0	34	25		
13年目	R 11	0.7026	100.0		0	34	24		
14年目 15年目	R 12 R 13	0.6756 0.6496	100.0 100.0		0	35 35	23 23		
16年目	R 14	0.6246	100.0		0	35	22		
17年目	R 15	0.6006	100.0		0	35	21		
18年目	R 16	0.5775	100.0		0	36	21		
19年目	R 17	0.5553	100.0		0	36	20		
20年目 21年目	R 18 R 19	0.5339 0.5134	100.0 100.0		0	36 36	19 19		
22年目	R 20	0.4936	100.0		0	36	18		
23年目	R 21	0.4746	100.0		0	36	17		
24年目	R 22	0.4564	100.0		0	37	17		
25年目	R 23	0.4388	100.0		0	37	16		
26年目 27年目	R 24 R 25	0.4220 0.4057	100.0 100.0		0	37 37	16 15		
28年目	R 26	0.4037	100.0		0	37	15		
29年目	R 27	0.3751	100.0		0	37	14		
30年目	R 28	0.3607	100.0		0	37	13		
31年目	R 29	0.3468	100.0		0	37	13		
32年目	R 30	0.3335	100.0		0	37	12		
33年目 34年目	R 31	0.3207 0.3083	100.0 100.0		0	36 36	12 11		
35年目	R 33	0.2965	100.0		0	36	11		
36年目	R 34	0.2851	100.0		0	36	10		
37年目	R 35	0.2741	100.0		0	36	10		
38年目	R 36	0.2636	100.0		0	36 35	9		
39年目 40年目	R 37 R 38	0.2534 0.2437	100.0 100.0		0	35	9		
41年目	R 39	0.2343	100.0		0	35	8		
42年目	R 40	0.2253	100.0		0	35	8		
43年目	R 41	0.2166	100.0		0	35	8		
44年目	R 42	0.2083	100.0		0	35	7		
45年目	R 43	0.2003	100.0		0	34	7		
46年目 47年目	R 44 R 45	0.1926 0.1852	100.0 100.0		0	34			
48年目	R 46	0.1832	100.0		0	34	6		
49年目	R 47	0.1712	100.0	-311	-53	34	6		
合 計				5,850	8,897	1,754	907		
単純事業費計			6,162		1,754				
ールナ 不見口			0,102		1,734				

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:第二東海自動車道 横浜名古屋線(浜松いなさJCT~豊田東JCT)

					GDP										合	計				
	年度	度 総走行台キロの年次別伸び率			割戻率	デンレータ	走行時間短縮便益(億円)						走行経費	或少便益(億F	円)	事故減少	便益(億円)		(億円)	
	(基準年)				1,000	, ,, ,		<u> </u>		.,	現在価値		/C114190#		•/	現在価値	7-2002	現在価値	便益合計	
年次	R 2	乗用車類	小型貨物 音		(A)		乗用車類	小型貨物 音	普通貨物	① 計	(1) × (A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	(3)	③×(A)	(1)~(3))	割引率4%
供用開始年次	H 28	0. 99533	0. 98796 1	1.00902 0.99615	1.1699	99.3	225	77	411	714	840	7	1	15	24	28	5	6	743	875
1年目	H 29	0. 99689		1. 01040 0. 99771	1.1249	99.3	224	76	415	715	810	7	1	15	24			6	744	
2年目		0. 99768		1. 01100 0. 99849	1.0816	99.2	224	75	419	718	783	7	1	16	24			6	747	
3年目	R 1	0. 99993		1.01309 1.00075	1.0400	100.0	223	74	424	721	750	7	1	16	24			5	751	
		0. 99967		1.00862 0.99911	1.0000	100.0	223	74	430	726	726	7		16	25			·	756	
5年目 6年目		0. 99967 0. 99967		1. 00855 0. 99911 1. 00847 0. 99911	0.9615 0.9246	100.0 100.0	223 223	73 72	433 437	729 732	701 677	7		16 16	25 25			·	759 762	
7年目		0. 99967	0. 98620 1		0.8890	100.0	223	71	437	734	653	7	1	16	25				762	
8年目		0. 99967		1.00833 0.99911	0.8548	100.0	223	70	444	737	630	7	1	16	25			4	767	
9年目	R 7	0. 99967		1.00826 0.99910	0.8219	100.0	223	69	448	740	608	7	1	17	25			4	770	
10年目	R 8	0. 99967	0. 98561 1	1.00820 0.99910	0.7903	100.0	223	68	452	742	587	7	1	17	25	20	5	4	773	611
11年目	R 9	0. 99967	0. 98540 1	1. 00813 0. 99910	0.7599	100.0	222	67	455	745	566	7	1	17	25	19	5	4	775	5 589
12年目	R 10	0. 99967	0. 98518 1	1.00806 0.99910	0.7307	100.0	222	66	459	748	546	7	1	17	26	19	5	4	778	3 569
13年目	R 11	0. 99967		1.00800 0.99910	0.7026	100.0	222	65	463	750	527	7	1	17	26	18	5	4	781	549
14年目	R 12	0. 99264		0. 99843 0. 99329	0.6756	100.0	222	64	467	753	509	7	1	17	26	17	5	3	784	529
15年目	R 13			0. 99843 0. 99325	0.6496	100.0	221	63	466	750	487	7	1	17	26	17	5	3	781	507
16年目	R 14	0. 99253	0. 99016	0. 99843 0. 99320	0.6246	100.0	219	63	465	747	467	7	1	17	26	16	5	3	777	7 486
17年目	R 15	0. 99248		0. 99842 0. 99316	0.6006	100.0	217	62	464	744	447	7	1	17	25	15	5	3	774	465
18年目	R 16			0. 99842 0. 99311	0.5775	100.0	216	62	464	741	428	7	1	17	25	15	5	3	771	1 445
19年目	R 17	0. 99236		0. 99842 0. 99306	0.5553	100.0	214	61	463	738	410	7	1	17	25	14	5	3	768	3 427
20年目	R 18			0. 99842 0. 99301	0.5339	100.0	212	60	462	735	392	7	1	17	25		5	3	765	
	R 19	0. 99224		0. 99841 0. 99296	0.5134	100.0	211	60	461	732	376	7	1	17	25	13	5	2	762	391
	R 20	0. 99218		0. 99841 0. 99291	0.4936	100.0	209	59	461	729	360	7	1	17	25			2	759	
23年目		0. 99212		0. 99841 0. 99286	0.4746	100.0	208	59	460	726	345	7	1	17	25			2	756	
24年目	R 22			0. 99841 0. 99281	0.4564	100.0	206	58	459	723	330	7	1	17	25		5	2	753	
	R 23	0. 99199		0. 99840 0. 99276	0.4388	100.0	204	57	459	720	316	7	1	17	25			2	749	
26年目	R 24	0. 99193		0. 99840 0. 99271	0.4220	100.0	203	57	458	717	303	7	1	17	25	10	5	2	746	
27年目	R 25			0. 99840 0. 99265	0.4057	100.0	201	56	457	714	290	7	1	17	25		5	2	743	_
28年目	R 26			0. 99840 0. 99260	0.3901	100.0	199	55	456	711	277	6	1	17	24		5	2	740	289
29年目	R 27			0. 99839 0. 99254	0.3751	100.0	198	55	456	708	266	6	1	17	24		5	2	737	
30年目	R 28	0. 99166		0. 99839 0. 99249	0.3607	100.0	196	54	455	705	254	6	1	17	24	9	4	2	734	
31年目	R 29	0. 99159		0. 99839 0. 99243	0.3468	100.0	194	54	454	702	244	6	1	17	24	8	4	2	731	
32年目	R 30			0. 99839 0. 99237	0.3335	100.0	193	53	453	699	233	6	1	17	24	8	4	1	728	
33年目	R 31	0. 99145		0. 99838 0. 99231	0.3207	100.0	191	52	453	696	223	6	1	17	24	8	4	1	725	
34年目		0. 99137		0. 99838 0. 99225	0.3083	100.0	190	52	452	693	214	6	1	17	24		4	1	721	
35年目	R 33			0. 99838 0. 99219	0.2965	100.0	188	51	451	690	205	6	1	17	24		4	1	718	
		0. 99122		0. 99838 0. 99213	0.2851	100.0	186	50	450	687	196	6	1	17	24		4	1	715	
	R 35			0. 99837 0. 99207	0.2741	100.0	185	50	450	684	188	6	1	17	24		4	1	712	
38年目	R 36			0. 99837 0. 99201	0.2636	100.0	183	49	449	681	180	6	1	17	24		4	1	709	
39年目		0. 99098		0. 99837 0. 99194	0.2534	100.0	181	49	448	678	172	6	1	17	23	6	4	1	706	3 179
40年目	R 38	0. 99090		0. 99837 0. 99188	0.2437	100.0	180	48	448	675	165	6	1	17	23	6	4	1	703	3 171
41年目	R 39			0. 99836 0. 99181	0.2343	100.0	178	47	447	672	158	6	1	17	23	5	4	1	700	
42年目	R 40	0. 99073		0. 99836 0. 99174	0.2253	100.0	176	47	446	669	151	6	1	17	23	5	4	1	697	7 157
	R 41			0. 99836 0. 99167	0.2166	100.0	175	46	445	666	144	6	1	17	23		4	1	693	
	R 42	0. 99056		0. 99835 0. 99160	0.2083	100.0	173	46	445	663	138	6	1	16	23		4	1	690	
45年目	R 43			0. 99835 0. 99153	0.2003	100.0	172	45	444	660	132	6	1	16	23		4	1	687	
46年目	R 44	0.000.7		0. 99835 0. 99146	0.1926	100.0	170	44	443	657	127	6	1	16	23		4	1	684	
	R 45			0. 99835 0. 99139	0.1852	100.0	168	44	442	654	121	5	1	16	23		4	1	681	
48年目	R 46	0. 99019		0. 99834 0. 99131	0.1780	100.0	167	43	442	651	116	5	1	16	23		4	1	678	
49年目	R 47	0. 99009		0. 99834 0. 99124	0.1712	100.0	165	42	441	648	111	5	1	16	23		4	1	675	116
合 計 (H28~							10,094	2,915	22,466	35,475	18,875	328	57		1,217		230	126		